

第73回年次大会 研究発表・ポスター・製品展示の募集

※発表申込みを2月26日(水)まで延長しました。

一般社団法人日本繊維機械学会は昭和23年に創立以来、「繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展を図り、かつこれに関する工業の発展に資すること」を目的として諸活動を展開してまいりました。

お蔭さまで、年次大会も第73回目を迎えます。本学会の年次大会の特色は、繊維機械を含む繊維・繊維製品がかかわる幅広い領域を網羅していること、製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされていることにあります。今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう、幅広い分野からの発表を募集します。

年次大会は年に一度、全国の会員が一堂に会して、研究発表会、特別講演会、懇親会に参加し、学術的・技術的交流を深め、情報交換、意見交換をする最も良い機会と考え、皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思っております。また、35歳以下の学会員の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」、「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます。ベテランの研究者から、経験の少ない若手の方々まで、多くのみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしております。

期 日 2020年6月4日(木)、5日(金)

会 場 大阪科学技術センター(大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、北へ徒歩約3分)

発表募集内容 []内はオーガナイザー、____(下線)はオーガナイザーリーダー

1. 研究発表セッション

(a) テキスタイル・アパレルの科学と工学

[金井博幸(信州大学), 井上真理(神戸大学), 鞠谷雄士(東京工業大学), 近藤幹也(東京都立産業技術研究センター), 徳山孝子(神戸松蔭女子学院大学), 堀場洋輔(信州大学), 丸 弘樹(栃木県産業技術センター), 森下美樹子(カケンテストセンター)]

キーワード: 繊維工学(繊維製品に関わる技術, 性能試験), 繊維製品と感覚計測(風合い, 快適性, 感性評価), ウェアの高機能化(安全, 安心, 健康), 被服心理とファッション(からだ, デザイン, マーケティング)

(b) 繊維機械の科学と工学

[喜成年泰(金沢大学), 太田成利(村田機械), 金田直人(福井工業高等専門学校), 橋本欣三(TMT マシナリー), 牧野智義(豊田自動織機), 保田和則(愛媛大学), 山 和史(津田駒工業)]

キーワード: 繊維機械の基礎研究, 流れの科学, 繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術, 紡績技術, 化合織機械, 織機, 編機, 準備機械, 織編組技術, 各種繊維関連機器

(c) ナノファイバー

[山下義裕(福井大学), 小野 努(岡山大学), 金 翼 水(信州大学), 中根幸治(福井大学), 向井康人(名古屋大学)]

キーワード: フィルター, ナノテクノロジー, エレクトロスピンニング, メルトブローン, 生体材料

(d) スマートテキスタイル

[堀 照夫(福井大学), 石井佑弥(京都工芸繊維大学), 桑原教彰(京都工芸繊維大学), 才脇直樹(奈良女子大学), 椎木 弘(大阪府立大学), 高橋秀也(大阪市立大学)]

キーワード: 導伝繊維, スマート材料, 環境, 実装, 情報

(e) 環境対応技術

[豊田 宏(太陽工業), 内丸もと子(カラーループ), 小田涼太(三晶), 森下あおい(滋賀県立大学)]

キーワード: リデュース, リユース, リサイクル, 省エネ, エコロジー, LCA, 生分解性, 未利用資源, バイオマス, 環境負荷低減, 節電, 軽量

(f) 繊維強化複合材料

[中西康雅(三重大学), 植松英之(福井大学), 倉敷哲生(大阪大学), 谷口憲彦(アシックス), 仲井朝美(岐阜大学)]

キーワード: FRP, 熱可塑性樹脂複合材料, ナノコンポジット, 有機・無機繊維, 強化形態, 複合効果, 傾斜機能, 成形加工, 接着・接合・界面

(g) 伝統的繊維製品および匠の技

[岡本陽子(神戸女子大学), 高井由佳(大阪産業大学)]

キーワード: 伝統産業, 天然繊維, 染織文化財, きもの, 組紐, 編物, 伝統技法, 織技法, 染技法, 衣文化, 民族衣装, 保存, 修理・修復, 復元, 文様, 色彩, デザイン, データベース, 文化財

2 お知らせ

(h) 染色・機能加工

[安永秀計(京都工芸繊維大学), 荒木聰之(住化ケムテックス), 上坂貴宏(京都市産業技術研究所), 榎本雅穂(京都女子大学), 岡田倫子(滋賀県東北部工業技術センター), 奥林里子(京都工芸繊維大学), 桑原里実(和洋女子大学), 解野誠司(和歌山県工業技術センター), 松原孝典(産業技術短期大学)]

キーワード: 染料/顔料/色素, 染色・加工処理剤, 新規材料合成, 染色・機能加工, デジタル染色, 超臨界染色加工, エコ染色加工, ドライブプロセス(電子線/紫外線/プラズマ), 堅ろう度向上, 廃液処理, 環境/持続社会, バイオベースマテリアル, 食品・農芸分野, ヒューマンオリエンテッド

(i) バーチャルテキスタイル

[横山敦士(京都工芸繊維大学), 若松栄史(大阪大学)]

キーワード: 繊維製品, バーチャル技術, 数値解析, CAE, CAD

(j) 産業用繊維資材および不織布

[田上秀一(福井大学), 笹山秀樹(福井県工業技術センター), 西村正樹(大阪産業技術研究所), 矢井田修(日本不織布協会)]

キーワード: 産業用繊維資材(テクニカルテキスタイル), 医療・衛生用, 工業用, 土木・建築用, 自動車用, 生活資材用, インテリア用, 寝装用, 皮革用, 二次電池用などの不織布

2. 製品紹介セッション

[藤田浩行(兵庫県立工業技術センター), 亀井孝典(島精機製作所), 河原喜久(帝人フロンティア), 作田光浩(東洋紡), 迫部唯行(ユニチカ), 武内俊次(京都工芸繊維大学), ニノ宮有希(東レ), 馬場武一郎(日本毛織)]

繊維全般にわたって新旧にかかわらず製品およびプロトタイプを紹介するセッションです。その内容にPR色があっても差し支えありません。この点が、このセッションの大きな特徴です。広い範囲から製品の進展に関連する発表を募集します。口頭発表とポスター発表(ポスターセッション)の製品紹介コーナーの両方に、同じ発表内容を応募することができます(ダブルエントリーでも料金は発表1件分です)。このセッションは1日目【2020年6月4日(木)】に開催します。

3. ポスターセッション

[松岡敏生(三重県工業研究所), 勝圓進(倉敷紡績), 東山幸央(兵庫県立工業技術センター), 廣垣和正(福井大学)]

ポスターセッションは、発表者と意見交換できる場です。このセッションには、(1) 学術研究発表コーナー、(2) 製品紹介コーナー(製品展示・実演も可能)があります。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます。このセッションは1日目【2020年6月4日(木)】に開催します。

学術奨励賞について

すべての研究発表セッションを対象に(製品紹介セッション、ポスターセッションは該当しません)、2020年3月31日の時点で35歳以下の学会員(法人会員を含む)の若手発表者に限って、優秀な口頭発表を行った登壇者(事前申請要)には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます。審査委員により、提出された原稿に基づく第一審査、第一審査を通過された場合、当日の口頭発表での第二審査を行います。学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意ください。ただし、ポスターセッション(審査対象外)へのダブルエントリーは可能です。

ベストポスター発表賞について

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に(製品紹介コーナーは該当しません)、2020年3月31日の時点で35歳以下の学会員(法人会員を含む)の若手発表者に限って、優秀なポスター発表を行った登壇者(事前申請要)には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます。当日【6月4日(木) 昼休み】に審査を行います。同じ講演題目による口頭発表は可能です。ただし、同じ講演題目による学術奨励賞への応募はできません。

発表申込方法

以下サイトよりWEB申込みをしてください。

URL: https://tmsj-orjp.sslwww.jp/entry_annual.php

発表申込・要旨原稿提出締切

発表申込締切: 2020年2月26日(水) 17時まで延長しました。

原稿提出締切: 2020年4月10日(金) 17時必着

その他

(1) 講演時間について(予定)

一般講演: 講演時間 20分(講演 15分, 質疑応答 4分, 次の演者との交代 1分)

セッション基調講演: 講演時間 40分(講演 35分, 質疑 4分, 次の演者との交代 1分)

- (2) 口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み(ダブルエントリー)の場合は、重複申し込みしている旨をご記載下さい。
- (3) 要旨集の配布は、紙媒体(冊子)とダウンロード方式(期間限定)による配布を行います。
- (4) 講演要旨集の発行日:2020年5月28日(木)
- (5) 原稿は、学会HPの年次大会頁に掲載の原稿作成要項をご参照頂き、書式にしたがってA4判1頁または2頁にまとめて下さい。書式から大きくはずれた原稿は受付できません。
- (6) 学術奨励賞にエントリーされた発表はA4判2頁で作成して下さい。
- (7) ポスターボードの大きさ
 - ①学術研究発表コーナー:たて1170mm, よこ870mm
 - ②製品紹介コーナー:たて841mm, よこ594mm
- (8) 参加登録費(事前登録日以降の登録(当日を含む)は各々2,000円追加)

| 会員種別 | 発表者 | 発表されない参加者 |
|-------|-------------|-------------|
| 会 員 | 8,000円(不課税) | 8,000円(不課税) |
| 非会員 | 8,000円(税別) | 13,000円(税別) |
| 学生会員 | 3,000円(不課税) | 3,000円(不課税) |
| 学生非会員 | 5,000円(税別) | 5,000円(税別) |

※学生非会員の方:学生会員の年会費は2,000円です。この機会にご入会ください。

- (9) 発表者は自動的に参加登録されます。あらかじめご了承下さい。

問合せ先 日本繊維機械学会 第73回年次大会実行委員会
 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル
 TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

第73回年次大会 実行委員会

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 実行委員長 山本 貴則(大阪産業技術研究所) | 橋本 欣三(TMTマシナリー) |
| 副委員長 小野 努(岡山大学) | |
| 田上 秀一(福井大学) | |
| 実行委員 荒木 聰之(住化ケムテックス) | 谷口 憲彦(アシックス) |
| 石井 佑弥(京都工芸繊維大学) | 解野 誠司(和歌山県工業技術センター) |
| 井上 真理(神戸大学) | 徳山 孝子(神戸松蔭女子学院大学) |
| 上坂 貴宏(京都市産業技術研究所) | 豊田 宏(太陽工業) |
| 植松 英之(福井大学) | 仲井 朝美(岐阜大学) |
| 内丸もと子(カラーループ) | 中西 康雅(三重大学) |
| 榎本 雅穂(京都女子大学) | 中根 幸治(福井大学) |
| 太田 成利(村田機械) | 西村 正樹(大阪産業技術研究所) |
| 岡田 倫子(滋賀県東北部工業技術センター) | 二ノ宮有希(東レ) |
| 岡本 陽子(神戸女子大学) | 馬場武一郎(日本毛織) |
| 奥林 里子(京都工芸繊維大学) | 東山 幸央(兵庫県立工業技術センター) |
| 小田 涼太(三晶) | 廣垣 和正(福井大学) |
| 勝圓 進(倉敷紡績) | 藤田 浩行(兵庫県立工業技術センター) |
| 金井 博幸(信州大学) | 堀 照夫(福井大学) |
| 金田 直人(福井工業高等専門学校) | 堀場 洋輔(信州大学) |
| 亀井 孝典(島精機製作所) | 牧野 智義(豊田自動織機) |
| 河原 喜久(帝人フロンティア) | 松岡 敏生(三重県工業研究所) |
| 鞠谷 雄士(東京工業大学) | 松原 孝典(産業技術短期大学) |
| 喜成 年泰(金沢大学) | 丸 弘樹(栃木県産業技術センター) |
| 金 翼 水(信州大学) | 向井 康人(名古屋大学) |
| 倉敷 哲生(大阪大学) | 森下あおい(滋賀県立大学) |
| 桑原 教彰(京都工芸繊維大学) | 森下美樹子(カケンテストセンター) |
| 桑原 里実(和洋女子大学) | 矢井田 修(日本不織布協会) |
| 近藤 幹也(東京都立産業技術研究センター) | 保田 和則(愛媛大学) |
| 才脇 直樹(奈良女子大学) | 安永 秀計(京都工芸繊維大学) |
| 作田 光浩(東洋紡) | 山 和史(津田駒工業) |
| 迫部 唯行(ユニチカ) | 山下 義裕(福井大学) |
| 笹山 秀樹(福井県工業技術センター) | 奥倉 弘子(滋賀大学) |
| 椎木 弘(大阪府立大学) | 横山 敦士(京都工芸繊維大学) |
| 高井 由佳(大阪産業大学) | 若松 栄史(大阪大学) |
| 武内 俊次(京都工芸繊維大学) | |

論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) 年次大会特集号原稿募集

ジャーナル編集委員会では年次大会特集号の発行を計画しております。本学会では現在、論文誌 Journal of Textile Engineering (JTE) を隔月で刊行しており、Original Paper, Short Paper, Review, Technical Report それぞれのカテゴリーの論文を掲載しています。特集号では、このうちの Original Paper または Short Paper として掲載できる研究論文を募集します。

Original Paper は、繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり 8 頁以内です。Short Paper は Original Paper と同様に未刊行の内容ですが、理論・実験・技術における新しい進歩を速報するための論文です。将来において充実した論文に完成させることを前提としたもので、原稿の長さは、原則として刷り上がり 4 頁以内です。

この特集号では、第 73 回年次大会（2020 年 6 月 4 日、5 日開催）において研究発表を行う皆様を対象に、投稿希望の有無を申請いただき、通常と同じ査読審査をより迅速に行うことで年次大会特集号に論文を掲載するものです。本特集号が、最新の繊維関連研究を俯瞰できる内容となることを意図しております。

本特集号に論文の掲載を希望される方は、学会の論文投稿規定に従って作成し期日までにご提出ください。皆様からの積極的なご投稿をお待ちしております。

【原稿種別】 Original Paper と Short Paper

【投稿期日】 2020 年 5 月中旬

【掲載費用（別刷り料金）】 有料

【発行予定】 第 66 巻, 第 5 号（2020 年 10 月発行予定）

ジャーナル編集委員会

| | | |
|-------------|--------------------|------------------|
| 委員長 | 保田 和則（愛媛大学） | |
| 副委員長 | 金井 博幸（信州大学） | 小柴 孝（奈良工業高等専門学校） |
| | 向井 康人（名古屋大学） | |
| 編集委員 | 上田 博之（大阪信愛女学院短期大学） | 植松 英之（福井大学） |
| | 金田 直人（福井工業高等専門学校） | 坂口 明男（信州大学） |
| | 廣垣 和正（福井大学） | 松岡 敏生（三重県工業研究所） |
| | 安永 秀計（京都工芸繊維大学） | 山下 義裕（福井大学） |
| | 山本 貴則（大阪産業技術研究所） | 山本 剛宏（大阪電気通信大学） |
| | 與倉 弘子（滋賀大学） | 横山 敦士（京都工芸繊維大学） |

講演会「進化した繊維によるメディカルの未来」

私達の健康な生活を支える医療技術は、多様な分野の発展により年々高度化しています。繊維の分野もまた、医療技術の研究と製品開発に大きく貢献しています。本講演会では、大学・研究機関から3件の最新の研究事例紹介として、医療用材料開発の背景や技術、および生体情報を活用した衣服設計について解説いただきます。さらに企業からは3件の製品開発事例について、同じく開発背景や技術を解説いただきます。現在医療に関連した繊維製品の研究・開発を行っている方や、これから取り組むことを検討されている方にとって非常に参考となる講演会です。多数の方々のご参加をお待ちします。

期 日 2020年2月28日(金) 10.00~17.30

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

10.00~11.00

(1) 「生体情報を指標とした高齢者向け衣服設計」

..... 京都女子大学 家政学部 教授 諸岡 晴美

11.10~12.10

(2) 「医療用ウィッグについて」

..... (株) グローウイング 代表取締役 堀江 貴嘉

13.00~14.00

(3) 「世界最小直径 30 μm の縫合針の開発と医工連携について」

..... (株) 河野製作所 戦略企画部 マネージャ 串畑 恭平

14.10~15.10

(4) 「生体吸収性繊維を用いた再生医療用培養基材」

..... グンゼ (株) メディカル事業部 事業部長 兼 QOL 研究所 所長 森田真一郎

15.20~16.20

(5) 「バイオミメティック界面の構築と組織再生スキャホールドの創製」

..... 国立循環器病センター研究所 生体医工学部 部長 山岡 哲二

16.30~17.30

(6) 「メディカル分野へのシルクの展開」

..... 信州大学 繊維学部応用生物科学科 教授 玉田 靖

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

定 員 40名 (定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 25,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 2,000円 (税別)

申 込 「講演会進化した繊維によるメディカルの未来」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込み (<https://tmsj-or.jp.sslwww.jp/lecture/>) ができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

講演会「セルロースナノファイバーの複合化技術」

自動車やスマートフォンなどの業界をはじめ、従来の素材に代わりとして注目を集めているのが、自然由来の新しい素材、セルロースナノファイバー（CNF）です。その魅力は環境負荷が小さいことやそれ以外の多様な性質にあり、CNF ならではの優れた性質を生かした開発が進んでいます。

現在では、その生産方法や用途開発などが進み、実際に素材としての利用が見込まれている分野も出てきました。よく知られている分野では自動車の内外装品、タイヤ、有機 EL や太陽電池の基板などです。近年、製造業では新興国の追い上げから日本の各企業ともにこれまでにない高い付加価値を探索し続けています。その意味でも素材として数多くの長所を持つ CNF への期待は大きく膨らんでいます。

本セミナーでは、この分野の第一人者に現在の取り組みについて直接お話をうかがえる機会を設けさせて戴きました。是非この機会を活用して戴きたく、多数の皆様のご来場をお待ちしております。

期 日 2020年3月5日(木) 10.00~16.50

会 場 大阪科学技術センター（大阪市西区靱本町 1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分）

内 容 予定

10.00~10.50

(1) 「セルロースナノファイバーのいろいろな作り方とその実用化に向けて」

..... 福井大学 繊維・マテリアル研究センター 教授 山下 義裕

11.00~11.50

(2) 「CNF と自動車－展望と課題－」

..... 金沢工業大学 大学院工学研究科 高信頼ものづくり専攻 教授 影山 裕史

13.00~13.50

(3) 「CNF の繊維強化材料としての可能性について」

..... 旭化成（株）パフォーマンスプロダクツ事業本部 技術研究所 小野 博文

14.00~14.50

(4) 「染色加工技術を用いたセルロースナノファイバー新規色材の開発」

..... 京都市産業技術研究所 色染化学チーム チームリーダー 上坂 貴宏

15.00~15.50

(5) 「強度だけではないナノセルロースの利活用」

..... 産業技術総合研究所 中国センター 機能化学研究部門 セルロース材料グループ グループ長 遠藤 貴士

16.00~16.50

(6) 「天然ナノ多糖の有機分子触媒・バイオマテリアル応用」

..... 九州大学 大学院農学研究院 環境農学部門 教授 北岡 卓也

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 40名（定員になり次第締め切らせていただきます）

参加費 会員 15,000円、協賛学協会員 15,000円、非会員 25,000円、学生会員 1,000円、学生非会員 2,000円（税別）

申 込 「講演会セルロースナノファイバーの複合化技術」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先（所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、④会員種別を記入の上、FAXまたはE-mailにて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込み（<https://tmsj-orjp.sslwww.jp/lecture/>）ができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

見学付き講演会「福井県工業技術センター」

日本繊維機械学会では、繊維機械分野に関するその時々最新の話題を集めて講演会を企画しています。

今回は、福井県工業技術センターのご協力の下、見学付き講演会を開催致します。福井県工業技術センターより先端複合材料に関するご講演や、(株) SHINDO 様から産業資材事業の取組み、フクビ化学工業 (株) 様から繊維強化複合材への取組みなどのご講演を賜ります。

さらに、福井県工業技術センターの機器設備および施設をご見学頂ける内容となっております。

ご関心の皆さま方のご参加をお待ち申し上げます。

期 日 2020年3月11日(水) 13.30~17.00

会 場 福井県工業技術センター (福井市川合鷺塚町 61 字北稲田 10)

主 催 企画委員会、コンポジット研究学会

内 容 予定

13.30~13.35 開会挨拶

13.35~14.25 講演1 「薄層化 CFRP 積層板の力学的特性」

..... 福井県工業技術センター 先端複合材料 G 主任研究員 山田 耕平

14.25~14.50 講演2 「SHINDO の産業資材事業の取組みについて」

..... (株) SHINDO 産業資材事業 開発部 中嶋 学

14.50~15.15 講演3 「フクビ化学工業の繊維強化複合材への取組み」

..... フクビ化学工業 (株) 開発本部 新需要開発室 技術主幹 兼岩 秀和

15.25~17.00 福井県工業技術センターの概要説明および見学

16.50~17.00 閉会挨拶、解散

定 員 40名 (定員になり次第締め切らせて頂きます。なお、都合によりご遠慮頂く場合がありますので、あらかじめご了承下さい。)

参加費 会員 4,000円, 非会員 8,000円 (税別), 学生無料, コンポジット研究学会メンバー無料

その他 詳細につきましては、参加者へご連絡致します。

申 込 「見学付き講演会福井県工業技術センター」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先 (所在地、電話番号、FAX 番号、E-mail アドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込み (<https://tmsj-orjp.sslwww.jp/lecture/>) ができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

不織布研究会(第76回)研究例会

期 日 2020年3月13日(金) 13.30~16.50

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

13.30~14.30

(1) 「湿式紡糸で創る微細な機能性繊維～製造技術としての課題と可能性～」

..... 岡山大学大学院 自然科学研究科 教授 小野 努

14.40~15.40

(2) 「ファインファイバー技術の開発(仮)」

..... 花王(株)加工プロセス開発研究所 グループリーダー 東城武彦

15.50~16.50

(3) 「私のこれまでの研究-接触冷温感の客観的評価から有効熱伝導率の測定まで-」

..... 奈良女子大学、椋山女学園大学 非常勤講師 米田守宏

17.15~18.45

(4) 名刺交換会(交流会)

共 催 ナノファイバー研究会

定 員 50名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 不織布研究会メンバーならびにナノファイバー研究会メンバー無料, 会員10,000円, 非会員18,000円, 学生会員無料, 学生非会員2,000円(税別), 交流会参加費別途5,000円(税別)

申 込 「不織布研究会(第76回)研究例会」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先(所在地, 電話番号, FAX番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい. 学会HPより参加申込書のダウンロードができます.

申込先 日本繊維機械学会 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センタービル6階
TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

染色加工研究委員会

委員長 上甲 恭平(椋山女学園大学)

運営委員 荒木 聰之(住化ケムテックス)

上坂 貴宏(京都市産業技術研究所)

榎本 雅穂(京都女子大学)

越智 清一(元繊維評価技術協議会)

桑原 里実(和洋女子大学)

長澤 則夫(元日本羊毛産業協会)

松原 孝典(産業技術短期大学)

吉川 雅敏(繊維評価技術協議会)

伊藤 博(イトービーイーオフィス)

大島 直久(日本染色協会)

岡田 倫子(滋賀県東北部工業技術センター)

改森 道信(改森技術士事務所)

嶋田幸二郎(嶋田技術士事務所)

橋本 嘉顯(東洋紡カンキョーテクノ)

森本 國宏(森本技術士事務所)

今田 邦彦(今田技術士事務所)

高橋 正志(日阪製作所)

奥林 里子(京都工芸繊維大学)

金崎 英夫(金崎技術士事務所)

解野 誠司(和歌山県工業技術センター)

廣垣 和正(福井大学)

安永 秀計(京都工芸繊維大学)

「テキスタイルカレッジ」のご案内

■「テキスタイルカレッジ」について

本学会は平成8年度から「テキスタイルカレッジ」を開講し、人材の育成に努めてまいりました。それから約20年が過ぎ、繊維や繊維機械に関する学術・技術は大きく発展する一方、繊維産業を取り巻く環境も大きな変貌を遂げてきました。

このような背景を鑑み、「テキスタイルカレッジ」の内容を平成29年度に見直しました。これまでの「テキスタイルカレッジ」で企図した“繊維・繊維機械産業を担う人材の育成”という目標を継承しつつ、最新の知識・技術を射程に捉えられる基礎的な知識について、より体系的・系統的に学習できる講座です。

■「テキスタイルカレッジ」の対象と内容

本講座は、繊維の基礎的な知識を体系的に学ぼうとする職業人や学生を対象としています。特に、繊維関連業務に就いて間もない方や、基礎的知識について改めて学びなおしたい方、また繊維関連企業への就職を考えている方を対象としています。

そこで、2日間で繊維と布づくりの概要について学習できる「入門」、「糸」「布」「製品」それぞれの工程の基礎について学べる「専門講座」を設けました。

一方で、繊維関連業務に従事しながら、さらにその知識を深めたいと考えている方もいらっしゃると思います。そのような既に実務に就いている職業人には「実用」講座を設けるなど、受講者の希望に応じた種々の内容を準備いたしました。

企業など各機関の計画的な人材育成、繊維および繊維機械に関する基礎的知識の習得・再確認のために、「テキスタイルカレッジ」をご利用下さい。

「テキスタイルカレッジ」開講計画

| 分類 | 開 講 日 | 講 座 名 |
|------------------|----------------|---|
| 入門 | 6/24(水), 25(木) | 1. 「2日間で学ぶせんいと布づくり」(2日) |
| 専 門 講 座 | 糸 | 7月予定 1. 「天然繊維の糸づくり」(1日) |
| | | 7/17(金) 2. 「化学繊維の糸づくり」(1日) |
| | | 12月予定 3. 「合成繊維(実用)」(1日) |
| | 布 | 9月予定 1. 「組物」(0.5日) |
| | | 9月予定 2. 「織物」(1日) |
| | | 9月予定 3. 「編物」(1日) |
| | | 10月予定 4. 「不織布」(1日) |
| | | 10月予定 5. 「染色加工(基礎)」(1日) |
| | | 11月予定 6. 「染色加工(実務と応用)」(2日) |
| | 製 品 | 2月予定 1. 「アパレル製品設計の基本」(1日) |
| | | 11月予定 2. 「繊維製品の感覚性能-アパレル製品を中心として-」(1日) |
| | | 11月予定 3. 「実習: 感性評価のための布特性」(1日) |
| | | 2月予定 4. 「資材用繊維」(1日) |
| | | 3/9(月)(2019年度) 5. 「繊維製品の品質管理と品質保証」(1日) |

テキスタイルカレッジ

「繊維製品の品質管理と品質保証」

製品と消費者を結ぶ基本的な繊維製品の品質を管理するための品質評価基準と試験方法、そして製品に影響する紡績・紡糸、編織工程での糸、布の品質欠点に関する講座を開催します。

基本的な生地の物性の評価基準と試験方法についてニッセンケン品質評価センターから、機能性試験の内容と評価基準について元繊維評価技術協議会の越智様から、製品クレームの事象と対策例についてボーケン品質評価機構から解説していただきます。また、消費者に直接届く最終製品のみならず、紡織、織、編の各工程における糸、織物、編物の品質評価とそれらの欠点が最終製品の品質に及ぼす影響等について、村田機械(株)、元 TMT マシナリー(株)の中田様、津田駒工業(株)、京都工芸繊維大学の武内様から解説いただきます。技術分野の初心者の方々だけでなく、営業の方々にとっても重要なポイントかと存じます。多数の方のご参加をお待ちしています。

期 日 2020年3月9日(月) 9.30～17.50

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容

9.30～10.30

(1) 生地の物性・堅牢度の一般的基準や試験方法の説明

……………(一財)ニッセンケン品質評価センター 大阪事業所 部長代理 中根 勲

10.40～11.40

(2) 機能性試験の内容と評価基準

……………元 繊維評価技術協議会, 日本繊維機械学会フェロー 越智 清一

11.50～12.50

(3) 製品クレームの事象と対策例

……………(一財)ボーケン品質評価機構 大阪試験センター 試験課 係長 椎葉竜太郎

13.40～14.40

(4) 溶融紡糸工程における品質欠点と最終製品への影響

……………元帝人, 元 TMT マシナリー, 中田西日本技術士事務所 代表 中田 賢一

14.50～15.50

(5) 紡績工程における品質欠点と最終製品への影響

……………村田機械(株) 繊維機械事業部, 日本繊維機械学会フェロー 松本 龍守

16.00～16.50

(6) 織物工程における品質欠点と最終製品への影響

……………津田駒工業(株) 繊維機械技術部 参与 伴場 秀樹

17.00～17.50

(7) 編物工程における品質欠点と最終製品への影響

……………京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任准教授 武内 俊次

協 賛 大阪染色協会, 関西ファッション連合

参加費 会員 15,000 円 非会員 23,000 円 学生会員 3,000 円, 学生非会員 5,000 円 (税別)

定 員 30 名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

申 込 「テキスタイルカレッジ繊維製品の品質管理と品質保証」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会 HP より WEB 申込み (<https://tmsj-orjp.sslwww.jp/college/>) ができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4, 大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

入門講座「2日で学ぶせんいと布づくり」

テキスタイルカレッジシリーズの入門編として、繊維工学を系統的に学ぶ機会の少なかった新入社員の方、新しく繊維業務に携わられる方などを対象に、2日間でせんいと布づくりの大まかな流れ・基本的用語等を理解できるように企画しました。

企業や大学で既に繊維業務に携わっておられる方にとっては、繊維と繊維製品の製造、性能、用途について再認識していただく場になればと思います。関係各位、多数の方々のご参加をお待ちしています。

期 日 2020年6月24日(水)、25日(木)

会 場 大阪科学技術センタービル(大阪市西区靱本町1-8-4、地下鉄四つ橋線「本町」下車、28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

1日目【6月24日(水)】

- (1) テキスタイル概論 (10.00~11.00)
..... 神戸大学大学院 人間発達環境学研究所 教授 井上 真理
- (2) 繊維の材料(天然繊維と化学繊維の種類、構造と性質) (11.10~12.40)
..... 京都工芸繊維大学 繊維学系 教授 山根 秀樹
- (3) 糸(繊維原料~紡績工程) (13.40~14.50)
..... (株)豊田自動織機 繊維機械事業部 技術部 紡機技術室 第2G 田嶋 智理
- (4) 糸加工(フィラメント糸の加工) (15.00~15.20)
..... 金沢大学 設計製造技術研究所 教授 喜成 年泰
- (5) 織物 (15.20~16.30)
..... 金沢大学 設計製造技術研究所 教授 喜成 年泰
- (6) 編物 (16.40~17.50)
..... 京都工芸繊維大学 繊維科学センター 特任准教授 武内 俊次

2日目【6月25日(木)】

- (7) 染色加工 (9.30~11.00)
..... 椋山女学園大学 生活科学部 生活環境デザイン学科 教授 上甲 恭平
- (8) 不織布 (11.10~12.40)
..... 日本繊維機械学会フェロー、信州大学 特任教授 矢井田 修
- (9) 産業資材 (13.40~14.50)
..... (株)クラレ 産資開発部 主管 頼光 周平
- (10) 環境 (15.00~16.00)
..... 繊維リサイクル技術研究会委員長、京都工芸繊維大学名誉教授 木村 照夫
- (11) 修了証贈呈式 (16.00~16.05)

協 賛 大阪染色協会、関西ファッション連合

定 員 50名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加費 会員25,000円、協賛学協会員25,000円、非会員33,000円、学生会員5,000円、学生非会員7,000円(税別)

申 込 「テキスタイルカレッジ2日で学ぶせんいと布づくり」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(所在地、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス)、④会員種別を記入の上、FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい。学会HPよりWEB申込み(<https://tmsj-orjp.sslwww.jp/college/>)ができます。

申込先 日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4、大阪科学技術センタービル

TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail:info@tmsj.or.jp

テキスタイルカレッジ

「化学繊維の糸づくり」

さまざまな化学繊維の製造法について、基礎から先端技術までを平易に解説する講座を開催します。本講座では、まず繊維の分類と各々の繊維の製造法について概要を述べた後、高分子科学的な観点からの、糸づくりの基礎・繊維の性質の基礎についても言及します。さらに、再生繊維と合成繊維について、製造法の基礎と開発経緯、さらには、技術的工夫による高性能・高機能化につき、古典的なものから最先端技術までを、現場技術の観点から平易に解説します。

繊維の製造に関わる科学者・技術者ばかりでなく、普段さまざまな繊維を扱う方々にとっても、その製法の概要を理解しておくことは、繊維の性質を深く理解することに繋がるため極めて重要です。多数の方々のご参加をお待ちしています。

期 日 2020年7月17日(金) 9.30~17.40

会 場 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町1-8-4, 地下鉄四つ橋線「本町」下車, 28号出口北へ徒歩5分)

内 容 予定

- (1) 化学繊維概論 (9.30~11.00)

..... 東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授 鞠谷 雄士

 - ・繊維の分類 (天然繊維・化学繊維)
 - ・化学繊維の分類 (再生繊維・半合成繊維・合成繊維・無機繊維)
 - ・化学繊維の基本的な性質と化学構造の関係 (熱特性, 力学特性)
 - ・糸の, 太さ, 強さなどの表記法
 - ・糸の種類 (フィラメント, ステープル, 撚糸)
 - ・布帛構造 (織・編, 不織布)
- (2) 化学繊維の糸づくり概論 (11.10~12.20)

..... 東京工業大学 物質理工学院 材料系 教授 鞠谷 雄士

 - ・化学繊維製造工程の概要 (原料から製品まで)
 - ・化学繊維のつくり方 (紡糸, 延伸, 熔融紡糸, 溶液紡糸 (湿式, 乾式, 半乾半湿式))
 - ・材料の性質と製造条件の違い (ポリエステルとポリプロピレン, 繊維構造形成)
 - ・さまざまな化学繊維製造技術 (スパンボンド, メルトブロー, フラッシュ紡糸, 電界紡糸等)
- (3) 再生繊維の糸づくり (13.10~14.40)

..... 元旭化成, 日本繊維技術士センター理事 溝口 隆久

 - ・湿式紡糸の基礎と開発経緯
 - ・ビスコースレーヨンとキュプラの紡糸技術の違い
 - ・生産工程と製法・条件
 - ・生産性向上, 高機能化, 機能付与
- (4) 合成繊維の糸づくり (14.50~16.30)

..... 元東レ, 日本繊維技術士センター相談役 齋藤 磯雄

 - ・熔融紡糸の基礎と開発経緯 (二工程法, スピンドロー (直接紡糸延伸), POY-DTY, 超高速紡糸)
 - ・さまざまな機能性繊維の糸づくり (異形断面, 中空, 異収縮混織, 細 De, モノフィラメント, 複合繊維, 極細繊維, 導電性, 共重合, カチオン可染, アルカリ減量等)
 - ・産業用繊維の製法と高性能化
- (5) 紡糸・延伸工程における品質欠点と最終製品への影響 (16.40~17.40)

..... 元帝人, 元 TMT マシナリー, 中田西日本技術士事務所代表 中田 賢一

 - ・合成繊維 (主にポリエステル長繊維) 生産時の各種品質欠点と後工程への影響
 - ・品質欠点の発生要因と対策
 - ・生産工場での品質管理体制確立について

- 協賛** 大阪染色協会, 関西ファッション連合
- 定員** 50名 (定員になり次第締め切らせていただきます)
- 参加費** 会員 15,000円, 協賛学協会員 15,000円, 非会員 23,000円, 学生会員 3,000円, 学生非会員 5,000円 (税別)
- 申込** 「テキスタイルカレッジ化学繊維の糸づくり」と明記し, ①氏名, ②所属, ③連絡先 (所在地, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス), ④会員種別を記入の上, FAX または E-mail にて下記宛お申し込み下さい. 学会 HP より WEB 申込み (<https://tmsj-orjp.sslwww.jp/college/>) ができます.
- 申込先** 日本繊維機械学会
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4, 大阪科学技術センタービル
TEL.06-6443-4691, FAX.06-6443-4694, E-mail : info@tmsj.or.jp

企画委員会

| | | | |
|---------------|----------------------|----------------------|--------------------|
| 委員長 | 倉敷 哲生 (大阪大学) | | |
| 副委員長 | 杉山 研志 (TMT マシナリー) | 東山 幸央 (兵庫県立工業技術センター) | 堀場 洋輔 (信州大学) |
| 企画委員 | 青谷実知代 (神戸松蔭女子学院大学) | 秋月 健司 (東レ) | 内丸もと子 (カラーグループ) |
| | 小川 敦久 (クラレ) | 奥野 智朗 (住江織物) | 小澤 明裕 (アシックス) |
| | 小野 努 (岡山大学) | 梶原 幸治 (キヨーワ) | 勝間田晋治 (ポーケン品質評価機構) |
| | 齋藤 寿叙 (カケンテストセンター) | 佐久間 淳 (京都工芸繊維大学) | 佐藤 克成 (奈良女子大学) |
| | 滋野 治雄 (帝人) | 竹本由美子 (武庫川女子大学) | 筒井久美子 (村田機械) |
| | 中根 幸治 (福井大学) | 西田 裕紀 (関西ファッション連合) | 野田 博丈 (トヨタ紡織) |
| | 馬場武一郎 (日本毛織) | 林 久秋 (豊田自動織機) | 深沢太香子 (京都教育大学) |
| | 福多 晴子 (カトーテック) | 藤井 智成 (津田駒工業) | 本田 元志 (京都市産業技術研究所) |
| | 松原 孝典 (産業技術短期大学) | 森島 英暢 (倉敷紡績) | 安井 章文 (東洋紡) |
| | 山田 博夫 (ユニチカトレーディング) | 山田由佳子 (大阪教育大学) | |
| アドバイザー | 宇治 光洋 (ダイセン(繊維ニュース)) | 木村 照夫 (元京都工芸繊維大学) | 武内 俊次 (京都工芸繊維大学) |
| | 藤井 明彦 (繊維評価技術協議会) | 松崎 健 (ミズノ) | 松下 義弘 (京都工芸繊維大学) |

北陸支部 令和元年度 福井大学 繊維・マテリアル研究センター 研究発表会

期 日 2020年3月6日(金) 13.30～16.40

会 場 福井大学総合研究棟 13F 大会議室 (福井市文京 3-9-1)

内 容

(1) 先端技術研究会 (13.30～15.40)

「既存繊維材料の高付加価値化を目指した応用技術開発」(13.30～14.10)

名古屋大学 大学院工学研究科 入澤 寿平

「繊維を使った布型太陽電池と濡れ検知システムの紹介」(14.10～14.50)

京都工芸繊維大学 繊維科学センター 武内 俊次

「飛び立つナノファイバーテクノロジー—バイオ・コスメ・スポーツウエア・フィルター—」(15.00～15.40)

福井大学 繊維・マテリアル研究センター 山下 義裕

(2) 研究発表会 (ポスター発表) および名刺交換・交流会 (15.40～16.40)

本発表会では福井県工業技術センターとの研究交流会を併せて行います。

以下の発表の他に、センター職員より数件のポスター発表を予定しています。

「高分子ナノ材料の動的物性への表面・界面効果の解明」 佐々木 隆

「高分子ナノファイバーの高速駆動技術」 坂元 博昭

「リグニン由来原料を用いた新規ポリウレタンの合成」 阪口 壽一

「金蒸着法による高次構造マッピング」 入江 聡

「セルロースナノファイバーの精密配向・高集積化」 藤田 聡

「酵素を用いた染色法の開発」 里村 武範

「セリシン加水分解物のストレス抑制を利用した有用物生産」 寺田 聡

「接着性ポリプロピレンを用いた熱可塑性炭素繊維強化プラスチック (CFRTP) 開発と界面接着機構の解明」

橋本 保

「炭素繊維強化ポリアミド6の力学特性とポリアミド6構造の関係」 植松 英之

「導電性布帛によるセルロースナノファイバーアクチュエータの創製」 庄司 英一

「非晶性高分子にみられるガラス転移の長時間緩和と時間換算の成否」 田中 穰

「繊維加工機器で見られる分岐型ノズル内の空気流解析」 田上 秀一

「フィブリン医療材料創成を目指した、未分解フィブリンフィルムの構造および機械的特性評価」 鈴木 悠

「刺激応答性発光繊維への応用を目指した三つ葉型分子の創製」 内藤 順也

「熱履歴認識ブロックコポリマーナノ組織体の合成」 杉原 伸治

「静電紡糸法を利用したマグネシアナノ繊維の作製と絶縁性放熱シートへの応用」 中根 幸治

「VGCF フェルトを用いた高出力バイオ電池の構築」 高村映一郎・末 信一郎

「構造発色繊維の創製」 廣垣 和正

「ブロック共重合体を用いた異種高分子界面の接着」 平田 豊章

「シルクフィブリンの湿式紡糸による最強繊維の作製」 山下 義裕

参加費 無料

共 催 福井大学大学院工学研究科附属繊維工業研究センター, 福井大学産学官連携本部協力会繊維技術研究部会, 繊維学会北陸支部, 日本繊維機械学会北陸支部

申込締切 2019年2月28日(木)

問合せ・申込先 福井大学 学術研究院工学系部門 廣垣和正

E-mail: hirogaki@u-fukui.ac.jp, FAX : 0776-27-8747

東海支部 2019年度あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター研究成果普及講習会

期 日 2020年3月25日(水) 13.30～16.30

会 場 尾張繊維技術センター3号館4階研修室(一宮市大和町馬引字宮浦35)

内 容

1. 基調講演(13.30～15.10)

「開発が成功に行き着くノンフィクションストーリー」

浅野撚糸(株)代表取締役社長 浅野雅己

浅野撚糸(株)は、高機能性・高感性を持たせる膨化糸「SUPER ZERO®」を開発し、これを使用した人気のタオル「エアークおる®」を販売しています。企業の開発が成功に行く着くための科学をご紹介します。

2. 事業紹介(15.20～15.30)

新あいち創造研究開発補助金の概要

愛知県経済産業局 産業部 産業科学技術課 職員

3. 尾張繊維技術センター研究成果普及講習(15.30～16.30)

(1) 「アクチュエーター繊維の動作制御技術に関する研究」

素材開発室 田中利幸

(2) 「組紐の3次元モデル作成システムの開発」

素材開発室 福田ゆか

(3) 「羊毛繊維の漂白条件最適化に関する研究」

素材開発室 山口知宏

(4) 「PET樹脂材料の耐候性に関する研究」

機能加工室 佐藤嘉洋

参加費 無料

申 込 「2019年度尾張繊維技術センター研究成果普及講習会」と明記し、①氏名、②所属、③連絡先(所在地、電話番号)を記入の上、E-mailにて下記宛お申し込みください。

問合せ・申込先 尾張繊維技術センター 機能加工室

E-mail: owari-kikaku@aichi-inst.jp

〒491-0931 愛知県一宮市大和町馬引字宮浦35, TEL 0586-45-7871

その他 詳細は下記URLをご参照ください。

<http://www.aichi-inst.jp/owari/other/seminar/>

お知らせ ヤコブミュラー細巾繊維機械実演展示会 開催のご案内

会 期 2020年4月15日(水)～17日(金)

会 場 協同組合福井問屋センター1階南展示場(福井市問屋町2-12)

<https://www.tontonfukui.com/>

開催時間 4月15日～16日(9.30～16.30): 各種展示機種実演展示

4月17日(9.30～16.00): 各種展示機種実演展示

各日(14.00～15.00): 各機種の説明

展示機種 ・NFM 53 4/66 Z5(新機種 中厚地テープ用電子制御2本針仕様細巾高速ニードル織機)

・MD 4/85(新機種 ラッシング/スリングベルトなど中厚地ベルト用織機)

・ACOTRONIC 8B/400(電子制御クロチェット編機 ループ形成装置付)

問合せ先 ヤコブミュラー日本株式会社 担当: 世戸

E-mail: y.seto@mueller-frick.com

TEL: 0776-27-6653, FAX: 0776-27-7675

第48回繊維工学研究討論会

The 48th Textile Research Symposium 2020

第48回繊維工学研究討論会(TRS48)は、2020年10月19日(月)～21日(水)の3日間、中国上海市の東華大学松江キャンパスで開催されます。

繊維工学研究討論会(国際シンポジウム)は、国内外の繊維工学研究者や技術者間が繊維工学の研究成果について討論し、一層の情報交流をはかるために1972年に始まり、本討論会で48回目を迎えます。今日では、ファイバーサイエンスからアパレルエンジニアリングまで幅広い分野の繊維研究に関する国際会議として位置づけています。世界で活躍する著名な研究者60～100名が集い、30～40の論文(口頭とポスター)が討論されます。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

期 日 2020年10月19日(月)～21日(水)

会 場 東華大学 松江キャンパス カンファレンスセンター(上海松江人民北路2999)

主 催 東華大学ならびに一般社団法人日本繊維機械学会

- 期 限**
- (1) 研究概要(アブストラクト)の提出締切期限:2020年5月1日
 - (2) 研究要旨(アブストラクト)の受理をお知らせする期限:2020年6月1日
 - (3) 要旨集原稿(エクステンド アブストラクト, 2ページ)の提出期限:2020年8月1日
 - (4) 事前登録(アーリーレジストレーション)の期限:2020年10月9日

参加登録費

事前登録:支払い期限は2020年10月9日まで

一般270\$ (アメリカドル), 学生150\$ (アメリカドル),

参加登録費:2020年10月9日以降

一般320\$ (アメリカドル), 学生:200\$ (アメリカドル)

- ・「学生」で参加登録される場合は、学生であることを示す証明(例えば、学生証、または所属組織からの証明)を提示する必要があります。参加登録費は予稿集が含まれます。
- ・事前登録期間中の参加登録費は、VISA, Master等のクレジットカードをご利用いただくことができます。

その他 詳細はTRS48Webサイト (<http://tmsj.or.jp/TRS48/>) をご覧ください。

2020 年度日本繊維機械学会フェロー推薦のお願い

日本繊維機械学会では平成 19 年の創立 60 周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。フェロー制度は欧米では早くから確立されており、フェローとなる会員は、学会を代表するにふさわしい研究者、技術者として認定され、その自覚を持って社会的に活躍されています。

本学会では繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた正会員に、「日本繊維機械学会フェロー」の称号を授与し、会員の地位向上ならびに国際活動を円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的として、この制度を設けました。

下記の「日本繊維機械学会フェロー規程」ならびに「日本繊維機械学会フェロー内規」をご参照の上、自薦他薦を問いませんので、2020 年 2 月 28 日(金)までにご適任の方をご推薦頂きますようお願い申し上げます。

ご推薦頂きます場合は「フェロー推薦書」と明記し、①候補者氏名、②所属、③肩書、④連絡先、⑤推薦者氏名（自薦の場合は不要）を記入の上、FAX. 06-6443-4694 または E-mail: info@tmsj.or.jp 宛お送り下さい。

日本繊維機械学会フェロー規程

目 的

第 1 条 繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著な貢献をなされた会員に、日本繊維機械学会フェロー（以下フェローと称す）の称号を与え、会員の地位向上ならびに国際活動をより円滑にし、併せて、本学会の一層の活性化を図ることを目的とする。

フェロー候補資格

第 2 条 フェローの称号を受ける資格は、原則として次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 正会員歴 10 年以上で、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の分野で顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (2) 正会員歴 15 年以上で本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (3) 維持会員ならびに賛助会員の各社あるいは各団体に通算 20 年以上在籍し、本学会の発展に顕著な貢献を成し、現在も活動中の会員。
- (4) 会長が認めた場合は上記以外でもフェロー称号を受ける資格者として認める。

推薦方法

第 3 条 フェローの称号は推薦により授与するものとし、推薦の方法は原則として次のいずれかによるものとする。

- (1) 自薦
- (2) 本学会の理事ならびに監事、各種研究会および委員会の委員長または支部長からの推薦のあった会員

推薦の時期

第 4 条 推薦者は所定の期日までに推薦書より選考委員会に申し出るものとする。

選考方法

第 5 条 フェロー候補者を選考するためにフェロー選考委員会を設ける。

認 定

第 6 条 フェロー選考委員会の選考結果に基づき、理事会の議決により認定し、日本繊維機械学会フェローの称号を授与する。フェロー認定書は、フェロー認定式において贈呈する。

任 務

第 7 条 フェローの称号を得た会員は、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の専門家として、傑出した研究者・技術者たることを自覚し、本学会の指導的会員として学会諸活動への積極的かつ能動的な参画を通じて本学会の目的達成のために率先して協力する。

登録費

第 8 条 フェローの称号を得た会員は、年会費とは別に定めた登録費を支払うものとする。

称号の喪失

第 9 条 次のいずれか 1 つに称号認定者が該当するとき、その称号を失う。

- (1) 本人から申し出があったとき。
- (2) 本会の会員資格を失ったとき。

附 則

1. 本規程の改廃は理事会の議決による。
2. 本規程は平成 20 年 3 月 15 日より実施する。
3. 本規程は平成 27 年 1 月 24 日より実施する。
4. 本規定は平成 30 年 11 月 10 日より実施する。

日本繊維機械学会フェロー内規

1. 推薦基準

(1) 候補者は、学術的・技術的業績に優れている者または学会活動に顕著な貢献を成した者とする。

2. フェロー選考委員会

(1) フェロー選考委員会は次の5名で構成する。選考委員については理事会の承認を得るものとする。

委員長 1名（理事）

副委員長 1名（理事）

委員 3名（委員長指名による会員）

(2) あらかじめ提出された推薦書をもとに選考委員会において議決し、その結果を理事会に報告する。選考委員会における審査は全員の出席を原則とするが、止むを得ない事情が認められた場合は、書面による審査意見の提出によりこれに代えることができる。

(3) 選考の経過ならびに内容については公表しない。

3. 登録費

フェローの称号を得た会員は、本学会活動の活性化のために年会費とは別に、年会費5年分の登録費を登録年度に1回のみ支払う。

附 則

1. 本内規の改廃は理事会の決議による。
2. 本内規は平成20年3月15日より実施する。
3. 本内規は平成27年1月24日より実施する。



炭素繊維強化プラスチック (CFRP) の 開発と市場 2020

炭素繊維強化プラスチック (CFRP) は、航空機やスポーツ用途を中心に順調に市場拡大してきた。さらに1990年代後半からは、産業用途を中心に需要が急増した。2008年後半のリーマンショックにより、一時的な成長の足踏み状態に陥ったが、2010年以降着実に需要が回復してきた。現在では、航空機用途での採用本格化、新規用途の拡大によるスポーツ用途の安定成長、風力発電ブレードなどの環境・エネルギー関連用途を牽引役とする産業用途が飛躍的に拡大し、大幅な成長が見込まれている。

本書【開発編】では、第一線で活躍中の専門家の方々にお願ひし、量産化技術、自動生産技術、せん断切断、切削加工、成形技術、自動車への展開、CFRTP、寿命予測、リサイクルなど、注目のトピックスを中心に執筆して頂いた。

【市場編】では、炭素繊維とCFRPの市場動向、マトリックス樹脂動向、成形法分類、用途別市場動向、メーカー動向について調べあげた。

CFRPの開発、製造、販売などをされている方々のマーケティング活動の一助となる一冊です。

【発行日】2019年12月18日

【価格】88,000円（税込）

【体裁】B5判、219ページ

【ISBNコード】978-4-7813-1484-6

【発行】株式会社シーエムシー出版

【連絡先】03-3293-7066

お知らせ 日本繊維機械学会フェロー会 「せんい」を通じて社会貢献する Fellow Club of TMSJ

日本繊維機械学会では、2008年の創立60周年を契機に「日本繊維機械学会フェロー制度」が設置されました。日本繊維機械学会フェローとは、繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展に顕著に貢献をした会員に与えられる称号です。2012年にフェローの集まりである日本繊維機械学会フェロー会が設立されました。社会貢献を目的として、日本繊維機械学会を側面からサポートしながら数々の活動を行っております。

日本繊維機械学会フェロー会の活動

1. 小中学生テキスタイルセミナー

これからの日本を背負っていく子供達に、繊維のすばらしさを伝える目的で行っています。繊維のすばらしさを伝える伝道師として、フェローが「Mr. ファイバーマン」に扮して、赤色のブルゾンを身につけ、子供たちに繊維知識をより身近に感じてもらういろいろな工夫をして開催しています。

過去の開催内容は学会HPのフェロー会ページ (<http://tmsj.or.jp/fellow/report.html>) で閲覧できます。

2. フェロー講演会（シリーズ「技術立国日本の先駆者」etc.）

技術立国日本の礎を作った先駆者として、フェローに成功と失敗談、光と影の部分を腹藏なく語っていただく講演会です。また、学会行事と連携して基礎講座も行います。

3. 技術相談

フェロー会ではフェローによる技術ならびに諸々の相談を受け付けています。相談事項がございましたら学会HPのフェロー会ページ (http://tmsj.or.jp/fellow/tech_advice.html) の「フェロー会メンバー相談可能分野一覧」を参照いただき、相談内容と相談したいフェロー名（任意）を学会事務局までお知らせください。相談内容は関係者以外には秘密保持致します。内容によっては相談に応じられない場合があります。なお、内容によっては費用が発生する場合があります。

4. 出前講義

小、中、高等学校から一般の方々、企業を対象に繊維に関する出前講義を行います。出前講義を希望されます団体は相談に応じますので学会事務局までご一報ください。

問合せ先 日本繊維機械学会フェロー会

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階

TEL 06-6443-4691, FAX 06-6443-4694

E-mail : info@tmsj.or.jp

お知らせ 日本繊維機械学会 Facebook ページの開設

SNS「フェイスブック」に、日本繊維機械学会のFacebookページを2018年7月に開設しました。

最新情報や開催行事報告等をお伝えします。

すでにフェイスブックをお使いの方は、ぜひ「いいね!」をお願いします。

協賛行事 水・高分子界面のダイナミクスから俯瞰する 生物資源と環境のコロイド工学

- 日時** 2020年3月9日(月)
会場 東京大学弥生キャンパス中島董一郎記念ホール(東京都文京区弥生1-1-1)
主催 高分子学会高分子と水・分離に関する研究会
その他 詳細はHP(https://colloid.csj.jp/202001/2019_water/)をご参照下さい。

協賛行事 世代自動車(EV, 燃料電池)の新たな兆し ー樹脂化と成形加工技術ー

- 期日** 2020年3月24日(木) 12.15~17.45
会場 スクエア荏原大会議室(東京都品川区荏原4-5-28)
主催 プラスチック成形加工学会
内容 詳細はHP(<https://www.jspp.or.jp/index.html>)をご参照下さい。

お知らせ 技術士(繊維部門)受験オープンセミナー

日本繊維技術士センターは、技術士(繊維部門)試験合格を支援します。まずは、2020年4月11日(土)に開催しますオープンセミナーで、合格への道筋をスタートさせてください。

繊維技術者の国家資格：技術士(繊維部門)

- ・技術士(繊維部門)の資格を取り、繊維技術者のエキスパートを目指そう
- ・国内外の人脈が広がり、技術ポテンシャル向上に役立ちます
- ・社会的なステータスアップに効果的です
- ・受験資格の改正で、全ての人が受験できます

- 期日** 2020年4月11日(土) 10.00~12.30
会場 日本繊維技術士センター(大阪市中央区本町1-4-5)
主催 日本繊維技術士センター
内容 ①技術士について
②先輩技術士から資格取得のメリット、社内外での活用事例合格への勉強方法を紹介
③受講講習会の説明
- 参加費** 無料
定員 30名
申込 氏名、会社名、連絡先、を明記し、4月4日(土)までにFAXにてお申込みください。
申込先 FAX:06-6484-6575

日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」

2018年1月より、日本繊維機械学会「Journal of Textile Engineering」の原稿の種類を、以下の様に変更・新設しました。

| 旧 | 新 |
|----------------|------------------|
| Original Paper | Original Paper |
| Note | Short Paper |
| Review | Review |
| 新設 | Technical Report |

一般論文 (Original Paper) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して独創性・新規性のある未刊行の論文であり、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

短報 (Short Paper) :

一般論文と同様に繊維または繊維機械に関連する科学・工学に関して未刊行の論文であり、萌芽的、断片的研究ではあるが信頼性が高く価値ある結果を得ているもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり4頁以内とする。

技術報告 (Technical Report) :

繊維または繊維機械に関連する技術に関する未刊行の報告で、信頼性が高く新しい価値ある結果を得ており、繊維技術と繊維産業の発展に貢献する技術を公表することを重視したもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり6頁以内とする。

レビュー (Review) :

繊維または繊維機械に関連する科学・工学・技術に関する最近までの研究や開発動向、将来展望を、過去の論文や報告を数多く引用してまとめた未刊行のもの。原稿の長さは、原則として刷り上がり8頁以内とする。

(一社) 日本繊維機械学会 会費減免規程

(目 的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本繊維機械学会会費規程第2条第2項に基づき、一般社団法人日本繊維機械学会（以下「本会」という）の組織強化のために、正会員の会費年額の減免措置について定める。

(定 義)

第2条 この規程における「従業員」の定義は、下記に定めるところによる。
「従業員」とは、正規、非正規関係なく企業・団体と直接雇用契約を結び、業務に従事する者をいう。

(年会費の減免)

第3条 本会の正会員の会費年額が8,000円であることは、会費規程第2条に明記されているが、以下のいずれかに該当する者については、本人からの申請により下記の減免措置を受けることができる。

- 1 ゴールド割引：本会の賛助会員または維持会員の従業員が本会の正会員となるとき、あるいは本会の正会員が賛助会員または維持会員の従業員である場合は、会費年額を2,000円とすることができる。但し、この減免措置を受けることのできる正会員数は、賛助会員1口につき10名、維持会員1口につき30名を上限とする。
- 2 シルバー割引：本会の正会員、あるいは賛助会員または維持会員の従業員で満65歳を越え且つ下記の在籍年数が5年以上ある場合には、会費年額を2,000円とすることができる。
 - ①本会の正会員としての在籍年数
 - ②賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数
 - ③上記①、②を合算した在籍年数
- 3 ブロンズ割引：本会に正会員として初めて入会したときは、1年間の会費年額を4,000円とすることができる。但し、年度の途中において入会した場合は、会員になった初年度の会費及び翌年度の会費について適用する。

(最低額の会費年額の適用)

第4条 本会の正会員が前条の2つ以上の事項に該当した場合は、その内最も低額の会費年額が適用される。

(減免の時期)

第5条 年度途中で第2条の減免理由が発生した場合においても、会費規程第3条の「前納」の原則は優先されるものとする。また、すでに納入された会費は返還しない。

(改 廃)

第6条 この規程は、理事会の決議によって変更することができる。

(附 則)

この規定は平成29年11月11日より施行する。

情報化委員会

| | | | |
|-----|-----------------|-------------|-----------------|
| 委員長 | 武内 俊次（京都工芸繊維大学） | | |
| 委員 | 中西 康雅（三重大学） | 保田 和則（愛媛大学） | 山下 義裕（大阪成蹊短期大学） |
| | 横山 敦士（京都工芸繊維大学） | 若子 倫菜（金沢大学） | |

【現状の会費規定】

| 会員種別 | 資格 | 会費 |
|---------|--------|-----------|
| 1. 名誉会員 | 個人 | 無料 |
| 2. 正会員 | 個人 | 8,000 円 |
| 3. 学生会員 | 在学中の学生 | 2,000 円 |
| 4. 賛助会員 | 団体、個人 | 95,000 円 |
| 5. 維持会員 | 団体、個人 | 280,000 円 |

【新しい会費減免規定（平成 30 年度年会費より適用）】

| 会員種別 | 資格 | 減免種別 | 年会費 | 減免資格内容 |
|---------|--------|--------|-----------|---|
| 1. 名誉会員 | 個人 | - | 無料 | - |
| 2. 正会員 | 個人 | - | 8,000 円 | - |
| | | ゴールド割引 | 2,000 円 | 維持会員あるいは賛助会員の従業員が本会の正会員である場合 |
| | | シルバー割引 | 2,000 円 | 満 65 歳以上の正会員で下記の在籍年数が 5 年以上である場合 ① 本会の正会員としての在籍年数 ② 賛助会員または維持会員の従業員としての在籍年数 ③ 上記①、②を合算した在籍年数 |
| | | ブロンズ割引 | 4,000 円 | 本会に初めて正会員として入会した場合（年度途中で入会の場合は翌年にも適用） |
| 3. 学生会員 | 在学中の学生 | - | 2,000 円 | - |
| 4. 賛助会員 | 団体、個人 | - | 95,000 円 | - |
| 5. 維持会員 | 団体、個人 | - | 280,000 円 | - |

【繊維産業活性化委員会（繊維・未来塾）】

| | | |
|------|----------------------------|------------------------------|
| 塾長 | 松田 正夫（元大阪繊維リソースセンター社長） | |
| 副塾長 | 近藤 健一（㈱おふいすけんいち代表取締役社長） | 松尾 憲久（マツオインターナショナル㈱ 代表取締役社長） |
| | 八代 芳明（東海染工㈱ 取締役会長） | 山下 雅生（㈱エイガールズ 取締役会長） |
| 幹事 | 松下 義弘（京都工芸繊維大学 非常勤講師） | |
| 運営委員 | 糸井 弘一（関西ファッション連合 戦略室 特命担当） | 宇治 光洋（ダイセン㈱（繊維ニュース）編集グループ記者） |
| | 白谷喜世彦（大津毛織㈱ 代表取締役） | 貝原 良治（カイハラ㈱ 代表取締役会長） |
| | 北丸 豊（豊栄繊維㈱ 代表取締役社長） | 桑名 紀夫（新パーソナルカラー®協会 理事） |
| | 高杉 哲朗（㈱ショーワ 代表取締役社長） | 辰巳 雅美（辰巳織布㈱ 代表取締役社長） |
| | 山本 敏明（西染工㈱ 代表取締役） | 米倉 勝久（㈱タカラ 代表取締役会長） |

日本繊維機械学会 書籍のご案内

学会 HP (<http://www.tmsj.or.jp/>) にて目次が見られます

繊維工学 (I) 繊維の科学と暮らし (本体価格 3,500 円)

図や写真を豊富に入れ、やさしく読みやすく記述しました。広い視野に立って社会史・工業史・文化人類史等の色彩を加え、技術予測など将来展望を含んだ広範な解説です。

繊維工学 (II) 繊維の製造・構造及び物性 (本体価格 3,000 円)

繊維形成高分子の生成、高分子の特性化、高分子の繊維化、繊維の構造と性質など、出発原料である低分子化合物より一貫して繊維を基礎から理解できるよう記述しています。

繊維工学 (III) 糸の構造・性能及び物性 (本体価格 3,700 円)

従来の紡績学とは違った方向から糸づくりのすべてを体系化して、やさしく解説しています。

繊維工学 (IV) 布の製造・性能及び物性 (本体価格 3,700 円)

布を織物・編物・不織布・組物・網・レースに分類し、各章ごとに製造と構造を説明し、さらに布全体としての性質を述べ、布づくりに関連する機械の紹介も網羅しています。

繊維工学 (V) 染色仕上 (本体価格 3,000 円)

染色仕上に関するすべての研究者、技術者、および生産者、消費者を対象とし、染色の基礎科学から浸染・捺染・水洗・脱水乾燥・熱加工などの単位操作までを詳述しています。さらに生産管理や色彩論なども加えました。

繊維工学 (VI) 最終繊維製品の製造と性能 (本体価格 3,000 円)

産業資材用繊維、アパレル、インテリアとエクステリアなどの製造と性能、さらにこれらの性能試験について、理論と実際の両面からバランスよく平易にまとめています。

繊維産業発達史概論 (本体価格 2,716 円)

繊維産業の直系の祖先を訪ねることにより、人類の誕生から現在に至るまでの繊維を作る技術と、その産業の歴史を系統的にまとめたもので、世界にも類をみない。

KES 特性値 (パラメータ) を用いるテキスタイルの風合い・外観・快適性客観評価式

(A4 版 65 頁、客観評価式の計算ソフト付き、本体価格 1,500 円)

本小冊子は川端・丹羽らによって開発された布の風合い客観評価式の全てを網羅したものである。KES システムで得られる基本力学特性値 (パラメータ) を用いて、布の風合い客観評価式が用途別に誘導されており (1980)、実際にこれらの式の計算に必要なデータ (特性値の標準偏回帰係数、平均値、標準偏差、等)、及び KES システムの計測条件を一覧できる。

繊維新素材・新製品データ集 (本体価格 4,800 円) (印刷発行 昭和 63 年 3 月 31 日)

【購入方法】

日本繊維機械学会 HP より購入申込書をダウンロード頂き、下記宛に E-mail または FAX にてお申し込み下さい。学会 HP (<http://www.tmsj.or.jp/>) にてすべての目次が見られます。

一般社団法人日本繊維機械学会

〒550-0004 大阪市西区鞠本町 1-8-4、大阪科学技術センタービル 6 階

TEL. 06-6443-4691, FAX. 06-6443-4694, E-mail: info@tmsj.or.jp